土佐日記 ●門出●

あらすじ 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

第一段	第二段	第三段	第四段	第五段	第六段
男が〔①　　〕日記というものを、女の私も〔②　　〕みようと思う。	ある年の十二月二十一日午後八時頃に出発する。その事の次第を書きつける。	ある国司が任期を終えて、諸手続きを済ませて船に乗るはずの場所へ行く。見送りの人々と別れを惜しんでいるうちに〔③　　〕てしまった。	二十二日、和泉の国まで旅の〔④　　〕を祈る。藤原のときざねが送別の宴を開く。みな酔って〔⑤　　〕。	二十三日。八木のやすのりが送別の宴を開く。心ある者たちが気兼ねすることなくやって来た。	二十四日。講師が送別の宴においでになった。みな酔って〔⑥　　〕がおぼつかなくなった。

重要語句 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

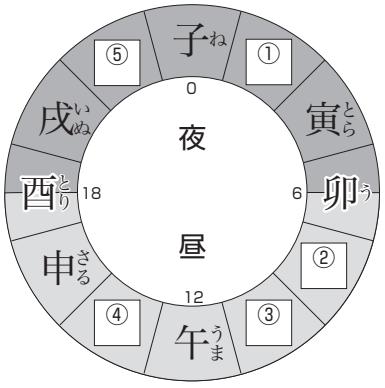
1 次の語句の本文中での意味を答えなさい。

(1) ののしる　［　　］

(2) 平らかなり　［　　］

(3) 酔ひ飽く　［　　］

2



上の表は、時刻を表したものである。それぞれの空欄に、あてはまる**漢字一字**を後ろの語群から一つ選んで記号で答えなさい。

①［　　］　②［　　］　③［　　］　④［　　］　⑤［　　］

ア 亥い　イ 巳み　ウ 丑うし　エ 未ひつじ　オ 辰たつ

重要文法 次の傍線部の助動詞の(a)意味と(b)活用形を答えなさい。

(1) 男もすなる日記といふものを（七四・2）

(a)［　　］　(b)［　　］

(2) 女もしてみむとてするなり。（七四・3）

(a)［　　］　(b)［　　］

内容理解　次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 「男もすなる日記」(七四・2)とは、どのようなものか。空欄にあてはまる語句を補って文を完成させなさい。

当時、日記は［A　　］が［B　　］で書く［C　　］を目的とした日記が一般的だった。

2 「そのよし」(七四・6)が指す内容は何か。次の中から適当なものを一つ選んで記号で答えなさい。

ア　この日記を書いた理由。
イ　都への旅の様子。
ウ　旅に出ることになった理由。
エ　土佐への旅の様子。

［　　］

3 「ある人」(七四・8)とあるが、(a)「ある人」とは誰のことか答えなさい。また、(b)次の文は、このように書いた理由を説明した文である。空欄にあてはまる語句を補って文を完成させなさい。

(a)［　　］

(b)［A　　］に仮託して書くために、この「ある人」が［B　　］であることを伏せたいから。

4 「潮海のほとりにて、あざれ合へり。」(七五・4〜5)について、次の問いにそれぞれ答えなさい。

(1)「あざれ」には二つの意味が掛けられ、おもしろ味のある表現になっている。次の表の空欄にあてはまる「あざる」の意味をそれぞれ書きなさい。

「あざる」の意味	掛けられている二つの意味
A	皆、酒に酔って「あざれ」合っている。
B	塩気のある海辺で魚が「あざる」とは信じられない。

(2) (1)と同じようなおもしろ味のある表現の部分を本文から**二箇所**抜き出しなさい。

［　　］
［　　］

5 女性に仮託して書いた理由を、本文の特色を踏まえたうえで、「漢文」「仮名文字」という言葉を用いて説明しなさい。

［　　］